

平成24年3月八峰町議会定例会会議録（第1日）

平成24年3月6日（火曜日）

議事日程第1号

平成24年3月6日（火曜日）午前10時開会

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 諸般の報告
- 第4 議案第1号 専決処分事項の報告について  
(平成23年度八峰町一般会計補正予算(第10号))
- 第5 議案第2号 八峰町の証明事務等の窓口を農業協同組合に設置する条例の一部を改正する条例制定について
- 第6 議案第3号 八峰町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第7 議案第4号 八峰町暴力団排除条例制定について
- 第8 議案第5号 八峰町空き家等の適正管理に関する条例制定について
- 第9 議案第6号 八峰町税条例の一部を改正する条例制定について
- 第10 議案第7号 八峰町公民館条例の一部を改正する条例制定について
- 第11 議案第8号 八峰町保育所条例の一部を改正する条例制定について
- 第12 議案第9号 八峰町介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 第13 議案第10号 八峰町工場誘致条例を廃止する条例制定について
- 第14 議案第11号 八峰町工業振興促進条例を廃止する条例制定について
- 第15 議案第12号 八峰町産業振興促進条例制定について
- 第16 議案第13号 八峰町工業用地等貸付譲渡条例を廃止する条例制定について
- 第17 議案第14号 八峰町産業振興用土地等貸付譲渡条例制定について
- 第18 議案第15号 八峰町特定地区公園条例の一部を改正する条例制定について
- 第19 議案第16号 八峰町ポンポコ山公園パークセンター条例制定について
- 第20 議案第17号 八峰町営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について
- 第21 議案第18号 あらたに生じた土地の確認について

- 第 2 2 議案第 1 9 号 字の区域の変更について
- 第 2 3 議案第 2 0 号 八峰町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- 第 2 4 議案第 2 1 号 財産の無償貸付について
- 第 2 5 議案第 2 2 号 公の施設の指定管理者の指定について
- 第 2 6 議案第 2 3 号 八峰町営簡易水道事業特別会計への繰入について
- 第 2 7 議案第 2 4 号 八峰町公共下水道事業特別会計への繰入について
- 第 2 8 議案第 2 5 号 八峰町農業集落排水事業特別会計への繰入について
- 第 2 9 議案第 2 6 号 八峰町漁業集落排水事業特別会計への繰入について
- 第 3 0 議案第 2 7 号 八峰町合併処理浄化槽事業特別会計への繰入について
- 第 3 1 議案第 2 8 号 平成 2 3 年度八峰町一般会計補正予算（第 1 1 号）
- 第 3 2 議案第 2 9 号 平成 2 3 年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 4 号）
- 第 3 3 議案第 3 0 号 平成 2 3 年度八峰町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）
- 第 3 4 議案第 3 1 号 平成 2 3 年度八峰町営簡易水道事業特別会計補正予算（第 4 号）
- 第 3 5 議案第 3 2 号 平成 2 3 年度八峰町公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）
- 第 3 6 議案第 3 3 号 平成 2 3 年度八峰町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 4 号）
- 第 3 7 議案第 3 4 号 平成 2 3 年度八峰町漁業集落排水事業特別会計補正予算（第 3 号）
- 第 3 8 議案第 3 5 号 平成 2 3 年度八峰町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 第 3 9 議案第 3 6 号 平成 2 3 年度八峰町営診療所特別会計補正予算（第 4 号）
- 第 4 0 発議第 1 号 予算特別委員会の設置について
- 第 4 1 予算特別委員会委員長及び副委員長の互選結果の報告について
- 第 4 2 議案第 3 7 号 平成 2 4 年度八峰町一般会計予算
- 第 4 3 議案第 3 8 号 平成 2 4 年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計予算
- 第 4 4 議案第 3 9 号 平成 2 4 年度八峰町介護保険事業勘定特別会計予算
- 第 4 5 議案第 4 0 号 平成 2 4 年度八峰町後期高齢者医療特別会計予算
- 第 4 6 議案第 4 1 号 平成 2 4 年度八峰町沢目財産区特別会計予算
- 第 4 7 議案第 4 2 号 平成 2 4 年度八峰町営簡易水道事業特別会計予算
- 第 4 8 議案第 4 3 号 平成 2 4 年度八峰町公共下水道事業特別会計予算
- 第 4 9 議案第 4 4 号 平成 2 4 年度八峰町農業集落排水事業特別会計予算

- 第50 議案第45号 平成24年度八峰町漁業集落排水事業特別会計予算
- 第51 議案第46号 平成24年度八峰町合併処理浄化槽事業特別会計予算
- 第52 議案第47号 平成24年度八峰町営診療所特別会計予算
- 第53 陳情第9号 「社会保障と税の一体改革による消費税増税は行わないこと」を  
国に求める陳情
- 第54 陳情第10号 原子力発電所の廃止・再生可能エネルギーによる発電の推進を国  
に求める陳情
- 第55 発議第2号 原子力発電所の廃止・再生可能エネルギーによる発電の推進を求  
める意見書の提出について
- 第56 陳情第11号 「社会保障と税の一体改革」の中止を求める陳情
- 第57 陳情第15号 消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める陳情
- 第58 陳情第16号 年金受給資格期間25年を10年に短縮することを求める陳情
- 第59 陳情第17号 無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3万3千円の支給を求  
める陳情
- 第60 陳情第18号 物価指数による年金の引き下げを行わないことを求める陳情
- 第61 発議第3号 物価指数による年金の引き下げを行わないことを求める意見書の  
提出について
- 第62 陳情第1号 最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める陳  
情
- 第63 陳情第2号 住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充  
実を求める陳情
- 第64 陳情第3号 子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充  
を求める陳情
- 第65 陳情第4号 公的年金の「特例水準解消・2.5%引き下げ」に反対する意見書の  
提出を求める陳情

---

出席議員（14人）

1番 松岡清悦	2番 見上政子	3番 柴田正高
4番 丸山あつ子	5番 門脇直樹	6番 腰山良悦
7番 皆川鉄也	8番 福司憲友	9番 山本優人

10番 佐藤克實      11番 阿部栄悦      12番 鈴木一彦  
13番 芦崎達美      14番 須藤正人

---

欠席議員（0人）

---

説明のため出席した者

町長	加藤和夫	副町長	伊藤進
教育長	千葉良一	総務課長	田村正
会計課長	岡田辰雄	企画財政課長	武田武
町民生活課長	金平公明	福祉保健課長	佐々木充
管財課長	伊勢均	税務課長	小林孝一
生涯学習課長	米森博孝	産業振興課長	須藤徳雄
農林振興課長	松森尚文	建設課長	田村博
幼児保育課長	加賀谷敏一	農業委員会事務局長	小林慶範
学校給食センター所長	木村学	あきた白神体験センター所長	工藤金悦

---

議会事務局職員出席者

議会事務局長	嶋津宣美	書記	船山厚子
--------	------	----	------

---

午前10時00分開会

○議長（須藤正人君） おはようございます。

ただいまの出席議員数は14名です。定足数に達しておりますので、これより平成24年3月八峰町議会定例会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、八峰町議会会議規則第117条の規定により、7番皆川鉄也君、8番福司憲友君、9番山本優人君の3名を指名します。

日程第2、会期の決定を議題とします。

去る2月17日付けで諮問しておりました3月定例会の会期等についての結果を議会運営委員長よりご報告願います。10番佐藤克實君。

○議会運営委員長（佐藤克實君） おはようございます。議会運営委員長の佐藤でございます

ます。

ご報告申し上げます。

当委員会では、去る2月24日及び3月1日、議長同席のもと、全委員出席し議会運営委員会を開き、2月17日付けで議長から諮問のあった平成24年3月八峰町議会定例会の議事日程等、議会運営に関する事項について協議いたしました。

その結果、本定例会の会期については本日から16日までの11日間とし、日程等につきましては皆さんのお手元にお配りしております日割表及び議事日程表のとおり決定いたしましたので、ご報告いたします。

以上です。

○議長（須藤正人君） お諮りします。本定例会の会期は、ただいまの議会運営委員長報告のとおり本日から3月16日までの11日間としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須藤正人君） 異議なしと認めます。従って、今定例会の会期は本日から3月16日までの11日間に決定いたしました。

本日の会議は、皆様のお手元に配付しております日程表に従って進めてまいりたいと思いますので、宜しく願いをいたします。

日程第3、諸般の報告を行います。

議長報告につきましては別紙報告書のとおりでありますので、朗読は省略させていただきます。

加藤町長より行政報告並びに予算編成方針について発言を求められておりますので、これを許します。加藤町長。

○町長（加藤和夫君） 皆さんおはようございます。

本日、平成24年3月八峰町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、ご多忙のところご出席を賜り、誠にありがとうございます。

それでは、提出諸議案の説明に先立ち、12月定例会以降の町政及び諸般の動きについて、その大要をご報告申し上げます。

はじめに、防災対策等について申し上げます。

東日本大震災から満一年を迎えようとしておりますが、改めて被災された方々にお見舞い申し上げますと共に亡くなられた方々に心からご冥福をお祈り申し上げます。

現在、町に避難されている方は、自宅を購入され引っ越して来られた方を含め、5世

帯11人となっております。避難されている方々については、今後もできるだけの支援を  
してまいりたいと考えております。

災害時に避難所となる旧岩館・旧岩子両小学校を含め全小中学校に、発電機、オイル  
ヒーター、投光器を配置しております。また、避難路を示す看板も設置中で、ハザード  
マップについても今月中に完成させ、全世帯に配付いたします。

災害時の情報を提供する手段として緊急速報エリアメールを導入し、八峰町のエリア  
内にある携帯電話に無料で緊急情報を配信するサービスを4月から実施する予定であり  
ます。

次に、1月5日に消防出初め式を開催いたしました。

式典前、吹雪の中、中浜地区で消防団員172名が消防人の心意気を示す堂々の分列行進  
を行いました。

その後、八森中学校体育館で式典を行い、長年にわたって消防活動に尽力された団員  
の方々の表彰に続き、来賓の方々から祝辞をいただき、全員で今年の無火災を誓い合っ  
たところであります。

厳しい寒さの中、ご出席いただきました議員の皆様はじめご来賓の皆様には厚くお礼  
申し上げます。

次に、3月1日現在で交通死亡事故ゼロが1759日続いております。

引き続き、秋田県の交通安全運動重点推進事項を踏まえながら、一層の交通安全運動  
を推進してまいります。

次に、総合振興計画後期基本計画の策定について申し上げます。

「新町まちづくり計画」を基に、平成19年度を初年度とする10年間の八峰町総合振興  
計画を策定しておりますが、今年度、前期計画の最終年度となることから、来年度から  
の後期基本計画策定に向けて総合振興計画後期基本計画策定審議会の委員の皆様からご  
審議いただき、3月2日、答申をいただきました。

新年度から5カ年の行政運営の指針として、白神の自然と人とで創るやすらぎの町づ  
くりに向けて、更にきめ細かな行政サービスを提供してまいりたいと考えております。

本計画策定に当たり、ご尽力賜りました委員各位に対し感謝を申し上げます。

次に、八峰町老人福祉計画・介護保険事業計画の策定について申し上げます。

この計画は、新たに平成24年度から平成26年度までの第5期計画を策定するもので、  
八峰町老人福祉計画・介護保険事業計画策定委員会を設置し、委員の皆様から提言・意

見をいただき、それをまとめた答申を2月14日いただきました。

策定にご尽力を賜りました委員各位に対し、感謝申し上げます。

次に、町営診療所診療日の変更について申し上げます。

町営診療所は、毎週月曜日から金曜日まで5日間診療を行っておりますが、医師との話し合いの結果、平成24年度から毎週水曜日を休診日とし、診療日を週4日に変更することにいたしました。

なお、診療日が変更となることについて町民の皆様が混乱しないよう、診療所における掲示や広報誌等への掲載により周知してまいります。

次に、農林水産物処理加工施設の経営状況についてであります。八峰白神の塩については、厳選した荒塩が入った「こだわりの逸品」を昨年の秋頃から発売し、ギフト等に活用されたこともあり、今年度の売上目標である720万円を達成できる見込みとなっております。

また、白神塩もろみについても、東京都内で開催された商談会等に積極的に参加し販路の開拓に努めたことや、塩もろみを使用したハタハタ寿し講習会を町内と大館市で合計3回開催し、一般消費者への売り込みを行ったことなどから、116万9,000円の今年度の売上目標を達成しております。

農林水産物処理加工施設の健全経営には、更に塩・塩もろみの売上げの向上が不可欠でありますので、現在、全国的にヒットしている「塩麴」よりも保存性やマスキング効果に優れた天然食品調味料であることを一般消費者に対しPRすると共に、白神自然食品と連携し、食品加工業者へのセールス強化も図ってまいりたいと考えております。

次に、東北観光博覧会についてであります。

観光庁は、大きく落ち込んでいる東北地方の観光振興を図るため、東北観光博覧会を実施すると発表しました。本町を含む環白神エリアは「白神ゾーン」として、核となる28ゾーンの一つに選考されました。

博覧会の実施期間は3月18日から来年3月末日までの1年間とし、その間に国と各自治体、観光関係団体等が連携して、「旅サロン」、「旅の駅」の指定、「地域観光案内人」の充実を図り、新設するポータルサイトに「着地商品」や「祭り・イベント」の情報を掲載すると共に、各種メディアを活用したPRの充実に努めることにより、東北地方への入込客数を震災前水準への回復を基本目標にしつつ、上積みを目指すこととしております。

今後、各運営協議会が設置され、事業が本格スタートしますが、当ゾーンに一人でも多くの観光客が訪れ、地域経済の活性化が図られるよう、本町も白神ゾーン運営協議会の一員として積極的に参画してまいりたいと考えております。

次に、ポンポコ山公園整備事業についてであります。今冬は寒さが厳しく、降雪量も多かったことから工事への影響を懸念しておりましたが、パークセンター新築工事や公園造成工事は予定どおりの進捗状況となっております。

完成後の施設及び公園の管理運営についてであります。現在、八峰町観光協会に公園管理と運営をお願いしたいと考え、協議を重ねております。

また、リニューアルオープンイベントとして、ゴールデンウィーク初日の4月28日土曜日に、子供向けのキャラクターショーやふれあいコンサートを開催したいと考えております。

次に、農林業関係について申し上げます。

最初に、平成24年産米の生産調整ですが、依然として米過剰傾向が続き、全国の数量目標は前年より2万t減となりましたが、秋田県は前年より3,220t（0.7%）増の44万3,640tで、5年ぶりの増加となりました。

面積換算すると、前年より560ha増の7万7,420haとなります。

昨年12月27日に県から市町村別生産数量目標が示され、八峰町には前年より96t増の6,328t、面積換算で15.04ha増の1,120haが配分されました。

これを受けて、1月30日に開催された八峰町農業再生協議会の臨時総会で配分方針等が協議され、水稻作付率を前年より0.9%増の59.4%、転作率を前年より0.9%減の40.6%とし、農家に一律配分することに決定されました。

農業再生協議会では、生産数量目標の配分方針や国の新政策の「人・農地プラン」や新規就農・農地集積事業などについて、2月29日に開催した農事班長会議で説明したほか、3月5日から9日まで集落座談会を開催し、周知徹底を図ることにしています。

次に、「猿作物被害アンケート結果」について申し上げます。

猿による農作物の被害状況を昨年12月に町内全農家を対象に実施したアンケート結果がまとまりました。

対象農家890戸のうち、回収数は607件で回収率は68.2%でした。

「被害がある」と答えた農家は、八森地区が36%、峰浜地区が30%で、全町で約3割の農家が被害を受けています。



農作物の実損面積は、八森地区が0.53 h a、峰浜地区が3.93 h aで、農地面積の多い峰浜地区が八森地区を大幅に上回っています。

作目別の被害実損面積は大豆が約3 h a、水稻が約0.4 h aとなっており、大豆が群を抜いて被害を受けていることが判明しました。

被害金額は全町で297万円に上り、ネギが70万円と一番多く、続いて水稻、大豆が上位3品目となっており、全体の約6割を占めています。

現在の猿害対策の取り組み状況については、約4割の方が「現在の取り組みでよい」との回答ですが、様々なご提案・ご意見をいただいておりますので、今後の猿害対策に活かしてまいります。

次に、J—VERクレジットの販売状況について申し上げます。

クレジットカード大手の株式会社JCBから1月に70 t追加購入していただき、今年12月の220 tと合わせて販売数量は290 tとなりました。

また、昨年12月に秋田銀行にも100 t販売することができ、これで平成23年度の販売数量は390 t、販売総額は721万2,500円となりました。

この販売収益は、昨年6月に設置した「八峰町自然再生基金」に積み立て、地球温暖化対策や自然再生に繋がる取り組みなどに活用することにしております。

町では今後も引き続き、企業訪問や企業とのマッチングイベント等に積極的に出展し、J—VERクレジットの販売活動を行ってまいります。

次に、農業委員会関係について申し上げます。

農事講演会が、1月22日、峰栄館に60名参加して開催されました。

講師には、元衆議院議員で全国農業会議所会長も務める二田孝治氏を招き、「最近の農業情勢について」、サブタイトルとして「T P P問題を中心に考える」と題してご講演をいただきました。

講演の中で、T P Pに参加した場合に懸念される地域農業への影響などを踏まえ、関係国との協議に対する議論の問題点を指摘し、「国の基盤である食糧生産を維持するため、農地を守っていかなくてはならない」と強調していました。

農業委員の皆様には、後継者育成や耕作放棄地対策など大変厳しい状況ではありますが、ますますのご活躍を期待するところであります。

次に、能代市朴瀬以北の広域農道についてであります。昨年12月の定例議会において県道と振替による町道の廃止及び認定を議決していただき、県、能代市、八峰町で4

月1日の供用開始に向け、電柱等の占用物件の調査等を進め、3月31日をもって引き渡しをすることにしております。

これに伴い、2月27日、峰栄館で開催された広域農道県道昇格促進期成同盟会総会では、これまでの要請活動で一定の成果があったとして、3月31日付けで本同盟会を解散することが決定されました。

次に、今冬の除雪についてであります。12月中旬から寒波が続き、除排雪と凍結防止剤の散布で、除雪機械はフル稼働しております。

1月30日に「八峰町雪害対策警戒部」を設置し、除排雪に努めております。

また、同日に除雪費の不足が見込まれましたので、必要経費については専決処分といたしましたので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

次に、住宅リフォーム緊急支援事業についてであります。当町の1月末現在の申請件数は241件で、事業費は2億6,899万円、町補助金の申請額は3,040万9,000円となっております。

当該事業は、住宅の耐久性の向上と建築関係者の受注拡大に大きな効果が上がっており、地域経済の活性化と住民の定住化を促進するため、引き続き支援事業を継続してまいりたいと考えております。

次に、公共土木施設災害復旧事業についてであります。秋田県から12月22日付けで着工承認をいただき、河川5カ所、道路2カ所、計7カ所を発注しております。

次に、八森地区簡易水道事業についてであります。老朽化した施設や管路の更新、維持管理の一元化のため、21年度から28年度までの整備計画のもと、今年度は管路の更新工事を岩館地区2工区、観海地区4工区を発注しております。

観海地区の3工区は既に完成し、完成検査を終了しておりますが、残り3工区は今月末完成に向け工事を進めております。

次に、合併処理浄化槽事業についてであります。循環型社会形成推進交付金事業を活用し、平成22年度から平成24年度までの計画のもと、今年度は5人槽5基、7人槽5基、計10基を整備しております。

町では今後も、個人負担の少ない市町村設置型の優位性と住宅リフォーム緊急支援事業や融資制度等の活動をPRしながら、合併処理浄化槽事業の設置を進めてまいります。

次に、平成23年度八峰町スポーツ文化栄誉賞の授与について報告いたします。

去る2月25日、八峰町文化ホールにおいて、平成23年度八峰町スポーツ文化栄誉賞の

授与式を開催しました。

今年度の町長賞は残念ながら該当がありませんでしたが、NHK全国俳句大会ジュニアの部学校大賞を受賞した水沢小学校に「町長特別賞」が贈られ、「教育委員会賞」には、スポーツ部門が7名、文化部門が4名、1団体、そして、小中学生奨励賞がスポーツ部門で1名、文化部門で8名の合計2団体、20名の方々がその活躍が認められ、めでたく受賞されました。

受賞された皆様、そして残念ながら受賞の対象には届きませんでした。八峰町の名声を県内外にとどろかせていただいた皆様に賛辞を贈ると共に、今後更なるご活躍を期待いたします。

次に、ことぶき大学について申し上げます。

2月16日、旧岩子小学校体育館において、健康講話並びに芸能発表会が約300人出席のもと開催されました。

午前の部の健康講話では、東北・北海道・関東で大活躍している梅丸たまこ氏を講師に迎えて、300年の歴史を持つ秋田漫才の語り、そして歌や踊りなどダイナミックな動きに会場は大きな笑い声と拍手に包まれていました。

午後からは、ことぶき大学生の中の18組の方々による、それぞれ自慢の歌や踊りの一芸を披露し合い、会場は大いに盛り上がり、盛会裏に終了しました。

次に、「あきた白神体験センター」について申し上げます。

4月から2月末までの宿泊利用者数は4,274人、日帰りの利用者数は6,362人、総利用者数は1万636人で、利用収入は1,274万2,000円となっております。

これは、昨年度に比べ、宿泊利用者数は112人の減、日帰り利用者数は1,499人の増、利用収入で106万5,000円の減となっております。

東日本大震災及び原発事故の影響を受けて一般の宿泊利用者数が減少し、利用収入に大きく影響しております。その分、日帰り利用者数が伸びており、秋から冬にかけては社会福祉協議会の「高齢者の健康・仲間づくりユニカール教室」、町福祉保健課の「八峰町シェイプアップ運動教室」、町生涯学習課の「放課後子どもチャレンジ教室」、町内スポーツ少年団の練習など、地域の多くの皆様からもご利用をいただいております。

次年度以降の県指定管理者についてですが、県の生涯学習課と協議を重ね、1月27日付けで県へ指定管理者指定申請書を提出しております。

県では、2月3日の県指定管理者審査委員会で八峰町の申請書が承認されたのを受け

て、3月上旬に県議会へ提案する予定であります。

それでは、本定例会に提出しております議案の概要について説明いたします。

議案第1号、専決処分報告については、平成23年度八峰町一般会計補正予算（第10号）の専決処分報告で、除雪関係経費を追加補正したものであります。

議案第2号、八峰町の証明事務等の窓口を農業協同組合に設置する条例の一部を改正する条例制定については、秋田やまもと農業協同組合八森支店が廃止されることに伴う改正であります。

議案第3号、八峰町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定については、監査委員の報酬を引き上げるため、条例改正するものであります。

議案第4号、八峰町暴力団排除条例制定については、町や町民、関係機関などが連携して暴力団の排除を進め、秋田県暴力団排除条例と一体となって取り組み、安全で安心な町民生活確保のため、条例制定するものであります。

議案第5号、八峰町空き家等の適正管理に関する条例制定については、町内にある空き家の適正な管理に関し、必要な事項を定め、管理不全な状態となることを未然に防止し、町民の安全・安心の確保及び生活環境の保全のため、条例制定するものであります。

議案第6号、八峰町税条例の一部を改正する条例制定については、東日本大震災からの復興に関し、地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源確保に係る地方税の臨時特例に関する法律及び地方税法の一部を改正する法律・政令・省令が公布、施行され、町民税の税率の特例などが規定されたため、条例改正するものであります。

議案第7号、八峰町公民館条例の一部を改正する条例制定については、社会教育法の一部改正に伴い、公民館運営審議会委員になることができる者の範囲を拡大するものであります。

議案第8号、八峰町保育所条例の一部を改正する条例制定については、所得税及び個人住民税の扶養控除等の廃止による保育料への影響を可能な限り生じさせないために改正するものであります。

議案第9号、八峰町介護保険条例の一部を改正する条例制定については、平成24年度から平成26年度までの3年間の介護保険料を定めるため、改正するものであります。

議案第10号、八峰町工場誘致条例を廃止する条例制定については、産業振興を更に促進するため、八峰町工場誘致条例と八峰町工業振興促進条例を統合した八峰町産業振興

促進条例を新たに制定するため、廃止するものであります。

議案第11号、八峰町工業振興促進条例を廃止する条例制定については、議案第10号と同様の理由により、廃止するものであります。

議案第12号、八峰町産業振興促進条例制定については、産業振興を更に促進するため、八峰町工場誘致条例と八峰町工業振興促進条例を統合した新たな条例を制定するものであります。

議案第13号、八峰町工業用土地等貸付譲渡条例を廃止する条例制定については、産業振興を更に促進するため、新たに八峰町産業振興用土地等貸付譲渡条例を制定するため、廃止するものであります。

議案第14号、八峰町産業振興用土地等貸付譲渡条例制定については、産業振興を更に促進するため、八峰町工業用土地等貸付譲渡条例を廃止し、新たに条例制定するものであります。

議案第15号、八峰町特定地区公園条例の一部を改正する条例制定については、ポンポコ山公園の工事に伴い、出店区画を整備したため、改正するものであります。

議案第16号、八峰町ポンポコ山公園パークセンター条例制定については、八峰町ポンポコ山公園パークセンター新設に伴い、制定するものであります。

議案第17号、八峰町営住宅管理条例の一部を改正する条例制定については、公営住宅法の一部改正に伴い、条例改正するものであります。

議案第18号、あらたに生じた土地の確認については、町の区域内に公有水面埋立法に基づき埋め立てた土地があらたに生じたので、その旨を確認するため、議会の議決を求めるものであります。

議案第19号、字の区域の変更についても、議案第18号と同様の理由により、土地があらたに生じたので、字の区域を変更するため、議会の議決を求めるものであります。

議案第20号、八峰町過疎地域自立促進計画の一部変更については、能代山本医師会病院増改築事業費補助事業を計画に追加するための変更であります。

議案第21号、財産の無償貸付については、産業振興を図り、雇用の拡大と経済活性化に資する誘致企業を支援するため、遊休施設を無償貸付したいので、議会の議決を求めるものであります。

議案第22号、公の施設の指定管理者の指定については、八峰町農林水産物直売施設の指定管理者に、八峰町農林水産物直売所「ぶりこ」組合長 川村栄子氏を指定するもの

であります。

議案第23号、八峰町営簡易水道事業特別会計への繰入について、議案第24号、八峰町公共下水道事業特別会計への繰入について、議案第25号、八峰町農業集落排水事業特別会計への繰入について、議案第26号、八峰町漁業集落排水事業特別会計への繰入について及び議案第27号、八峰町合併処理浄化槽事業特別会計への繰入については、いずれも地方財政法第6条の規定による一般会計からの繰入に係るものであります。

議案第28号、平成23年度八峰町一般会計補正予算（第11号）は、9,427万8,000円を追加して、歳入歳出予算の総額を60億5,931万7,000円とするもので、歳出の主なものは、電算システム改修業務委託料、障害者自立支援分国県支出金返納金、財政調整基金積立金、雇用創出基金積立金、自然再生基金積立金などが主な追加分で、そのほかは各事業の精算などによる減額となっております。

議案第29号、平成23年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）は、2,117万1,000円を減額して、歳入歳出予算の総額を11億6,009万4,000円とするもので、歳出の主なものは、システム機器更改に係る臨時負担金の追加や保険財政共同安定化事業拠出金の減額などとなっております。

議案第30号、平成23年度八峰町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、29万6,000円を追加して、歳入歳出予算の総額を7,915万7,000円とするもので、歳出の主なものは、保険基盤安定負担金の追加であります。

議案第31号、平成23年度八峰町営簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）は、401万1,000円を追加して、歳入歳出予算の総額を4億6,891万1,000円とするもので、歳出の主なものは、簡易水道基金積立金となっております。

議案第32号、平成23年度八峰町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）は、1,400万円を減額して、歳入歳出予算の総額を3億7,990万8,000円とするもので、施設管理費の減額などであります。

議案第33号、平成23年度八峰町農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）は、233万3,000円を減額して、歳入歳出予算の総額を1億956万9,000円とするもので、施設管理費の減額などであります。

議案第34号、平成23年度八峰町漁業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）は、歳入予算を組み替えるものであります。

議案第35号、平成23年度八峰町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）は、

565万3,000円を減額して、歳入歳出予算の総額を1,233万1,000円とするもので、事業費の減額などであります。

議案第36号、平成23年度八峰町営診療所特別会計補正予算（第4号）は、702万6,000円を減額して、歳入歳出予算の総額を6,692万円とするもので、医薬材料費の減額などあります。

議案第37号、平成24年度八峰町一般会計予算は、新年度当初予算であります。

議案第38号、平成24年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計予算から、議案第47号、平成24年度八峰町営診療所特別会計予算までは、各特別会計の当初予算であります。

議案第48号、八峰町固定資産評価審査委員会委員の選任については、現委員である銭谷芳美氏が平成24年5月16日で任期満了となることから、新たに岩城朝夫氏を八峰町固定資産評価審査委員会委員に選任したいので、議会の議決を求めるものであります。

議案第49号、八峰町固定資産評価審査委員会委員の選任については、現委員である神垣陸廣氏が平成24年5月16日で任期満了となることから、引き続き八峰町固定資産評価審査委員会委員に選任したいので、議会の議決を求めるものであります。

議案第50号、八峰町固定資産評価審査委員会委員の選任については、現委員である水木博氏が平成24年5月16日で任期満了となることから、引き続き八峰町固定資産評価審査委員会委員に選任したいので、議会の議決を求めるものであります。

議案第51号、八峰町沢目財産区管理委員の選任については、現委員である武田隆一氏が平成24年3月31日で辞任することから、新たに鈴木孝夫氏を八峰町沢目財産区管理委員に選任したいので、議会の議決を求めるものであります。

以上、3月議会定例会でご審議いただく議案は51議案であります。今会期中に教育委員の選任案件1件を追加する予定であります。

詳細については各議案の提案の際に説明させていただきますので、宜しくご審議の上、適切なご決定を賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、平成24年度予算編成方針について説明いたします。

平成24年度の予算編成方針とその主な施策について、私の所信を申し上げます。

我が国の経済は、昨年3月の東日本大震災、原子力発電所事故により、経済活動は大きな打撃を受け、平成23年度は厳しい状況からのスタートとなりました。

更に夏以降、急速な円高の進行、欧州政府債務危機、タイで起きた日本企業の工業団地水害が追い討ちをかける形で、世界経済は委縮し、国民や企業の先行きに対する不安